

松江第六中学校応援団実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立松江第六中学校長 清野 正
代表 平田 光男

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
地域連携	松江南地区町会連合区民大運動会のお手伝い 中央・一之江ふるさとまつりお手伝い	○本校の生徒会役員が協力役員として会の運営に協力 ○本校水泳部及び生徒会が第16回中央・一之江ふるさとまつりのお手伝いに参加 Waku doki プレイパークやゲームコーナーを運営
部活動指導	野球部 サッカー部	○地域の専門家による部活動指導 ○地域の専門家による部活動指導
各種活動	夏休み夜間パトロール 運動会・文化祭の警備協力 小学校PTAとの交流会 六中まつり 薬物乱用防止教室講師	○PTAと学校、青少年育成松江南地区委員会が協力して、夏休みに地域パトロールを実施 ○PTAによる校内外の警備協力 ○西一之江小学校と松江第六中学校のPTA交流会、合同研修会の実施 ○PTAと学校が共同で実施 ○3年生対象の薬物乱用防止に関する講演



薬物乱用防止教室



六中まつり



地域の専門家による部活動指導



小学校PTAとの合同研修会

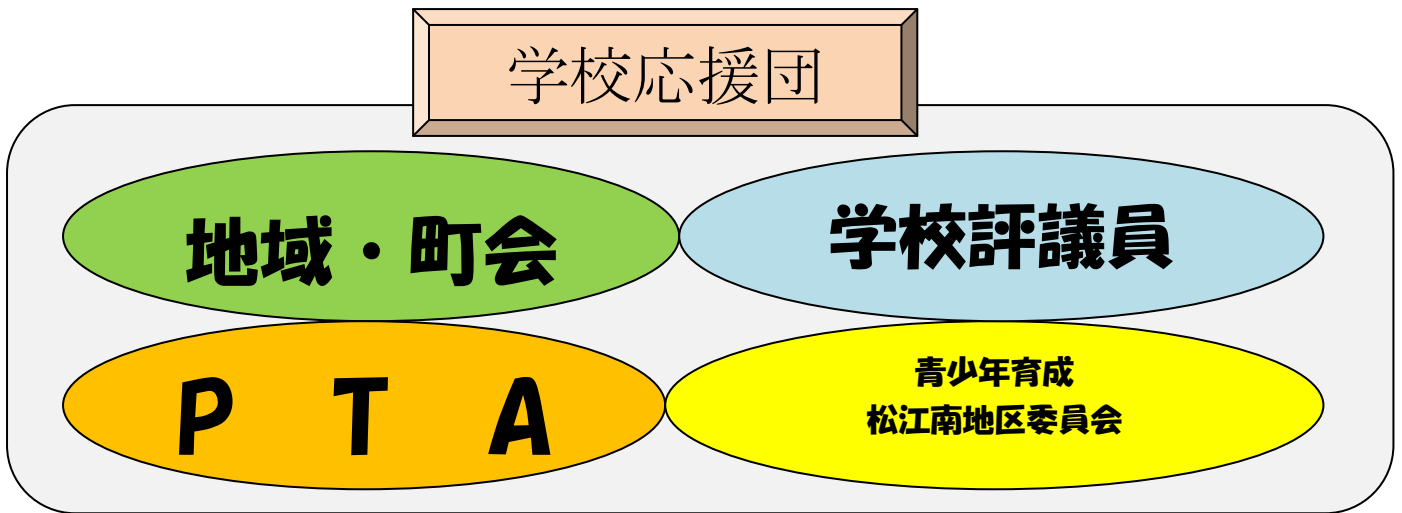


松江南地区町会連合区民大運動会のお手伝い



中央・一之江ふるさとまつりお手伝い

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

学校応援団の活動を通して、地域の行事等に生徒が参加する機会が増え、地域と学校の関係が深まった。また、生徒も地域の方からほめていただく場面が数多くあり、やりがいと地域への愛着をもって、地域行事等に参加することができた。さらに、地域の専門家による部活動指導などにより、学校の教育活動の質が高まった。

<課題>

学校の教育活動の、どの部分に参画・お手伝いしていただくかは手探りの状態であった。また、地域・保護者の方も大変お忙しいため、学校の要望に地域・保護者の方が応えるのは容易ではなかった。今後、活動の内容を精査し、無理なく継続することのできる活動を確立することが課題である。

5 代表より

学校応援団の1年間の活動が間もなく終わろうとしています。手探りの状態の中で活動を進めてきましたが、校長先生との意思の疎通も十分に図られ、スムーズに運営できたのではないかと思います。学校にどんな人が応援に入ればいいのか、子どもが好きで、学校の事情もよく分かっている人が適任かと思いますが、そうした人の輪をさらに広げていきたいと願っています。

6 学校長より

昨年度に引き続き代表の平田光男さんと二人三脚で活動を進めることができました。「困ったことがあったら何でもおっしゃってください。地域は学校の味方ですから…。」平田さんのお言葉に何度も大きな力を得て、何とか無事に1年間の教育活動を終えることができそうです。次年度以降も平田さんと協力して、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進していきたいと思っております。